

センター通信

後悔する勇氣



エーデルワイス

兵庫県立伊丹高等学校

生徒会長 貴島 慶次

僕はよく後悔をします。夜寝る前に些細な事でも、なぜあんな事をしてしまったのだろう、こうすればよかったのに、などよく思います。いつだってチャンスは一期一会、一度きりです。その場その場で納得のいく行動ができるなんて思っていません。ですが後悔してしまいます。なぜ人は後悔するのでしょうか？僕は「人は誰もが理想の自分像を持っていて、その自分像に合わない行動をしてしまった時に後悔するのだ」と思います。つまり、後悔することは自分の理想に近づこうとしている証拠だと思います。今の僕たちにとってそれはしんどいことかもしれませんが、成長には欠かせないことでもあります。しかし「後悔しないように頑張れ」という言葉を聞くことがあります。この言葉は、「自分の理想を叶えるために力を尽くそう。」という意味だと思います。この言葉のように後悔しないよう努力をすることも、成長には欠かせません。さて、では後悔することは良いことなのでしょうか？それとも悪いことなのでしょうか？

僕は、後悔はしても良いと思います。でも、後悔を増やさないように何にでも積極的に挑戦していくべきだとも思っています。中学3年生の時、当時の担任の先生が僕に教えてくれました。「積み重ねたことには、一つたりとも無駄なんてない。」と。成人年齢が18歳になった今、僕は大人になろうとしています。今までの約17年間、たくさん後悔をしてきました。

けれど、失敗して何度も後悔してきたことを悔やんではいません。なぜなら、今まで積み重ねてきたどんな些細な出来事でも今の自分につながっていて、これからの自分を形作っていくことを知ったからです。勇氣を出して挑戦し努力したことは、その結果がどうであれ必ず自分の経験値になって、人生を豊かにしていく。こう考えると人生100年時代と言われている今、まだまだ長い道のりがほんの少し楽しみになりました。このことに気づかせてくれた当時の担任の先生にとっても感謝しています。

「迷ったっていいじゃない。人生は誰だって初めてだ。」僕が好きな本の中の言葉です。あのときこうすればよかった、なんて後悔して自己嫌悪になることもあります。そんな時、この言葉を思い出すようにしています。後悔しない人なんて誰一人もいないし、間違えて、失敗して、後悔することは全然悪いことじゃない。この言葉のおかげで僕は日々様々なことに挑戦することができています。もし同じように自己嫌悪になっている人がいたらこの言葉を知って、前向きになって欲しいと思います。

今の僕たちは目の前のことに必死で、なかなか成長出来ずにいるかもしれません。そんな時に広い視野を持って迷うことを恐れず、勇氣をだして一步步進んでいく意識や姿勢が青少年の健全育成には必要だと思いました。

伊丹市少年補導委員 青少年問題研修会

9月14日(木)、総合教育センター2階研修室にて、青少年問題研修会が開催されました。市内少年補導委員(49名)が参加し、補導活動時における青少年への声のかけ方について研修を深めました。

演題「補導活動における声かけや関わり方について」

～キレる子や引きこもる子の心理～

講師 兵庫県教育委員会・伊丹市教育委員会
スクールカウンセラー 福島 美由紀 氏



ご講話の中で、印象に残ったことの一つに、人が人と話す時、オドオドと言葉を発する人、思ったことをポンポンと言う人、落ちついて言葉を発する人など人それぞれですが、それらはその人の性格ではなく、自身の経験から自身の命を守るための自然な防御反応つまり生理的な反応であるということでした。それを理解すれば、私たち大人が子どもたちに声をかけた時に返ってくる投げやりな、あるいは暴力的な言葉や行動に対する受け止め方が違ってくるということです。その子の身体の声の聴いて、責めない会話に努めることが声かけのポイントであると学びました。何とか分かってもらいたい気持ちが自分の気持ちを受け止めてくれる人や仲間を求めて、その子は今そこにいるのかもしれませんが、SOSは通じるだろうと思っている相手に対してしか発信されません。この講演会での学びを通して、今まで以上に少年補導委員さんたちは子どもたちの気持ちを受け止め、「人は人とのつながりでしか救えない」ということばを胸に補導活動に携わってくださることを確信しました。

歩行中の年齢別死傷者数の推移-抜粋-(警察庁)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
4歳以下	687	616	548	474
5～9歳	3240	2545	2601	2337
10～14歳	1604	1244	1344	1304
15～19歳	1556	1152	1100	1074

秋の交通安全運動は終わりましたが…警察庁の発表によると、昨年の交通事故による死者数は2,610人で、前年比26人、1.0%減少し、6年連続で最少を更新しました。

さて、左記の表は「歩行中の交通事故による死傷者数」について19歳以下の分を抜粋したものです。一番多いのは5歳から9歳の年齢層です。中でも7歳(小学1～2年生)が最も多く、魔の時間帯は登校時よりもばらばらに帰る下校時が要注意だそうです。また、子どもは「よく見て」の言葉に、子どもなりによく見ているつもりなので、私たち大人は具体的に「どこを見て、何に気を付けるか」を声かけして、子どもたちの安全を見守りたいものです。

9月補導活動 -暫定値-	幼児 小学生	中学生	高校生 その他	大人
あいさつ	2382	238	149	434
声かけ/会話等	222	49	31	47
(内) 遊びに関する	7	0	4	0
交通に関する	14	1	6	21
その他	4	3	3	0
電話相談	7件	有害図書回収状況		
来所相談	7件	有害図書 176冊		
メール相談	1件	有害AV 122個		

子どもと保護者のためのなやみ相談窓口

<電話相談> ☎072-770-8742

月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く) 10:00～17:30

<来所相談> (要予約) ☎072-780-3540

月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く) 10:00～17:00

<メール相談> aigo@itami.ed.jp

または、当センターHPのメールフォームをご利用ください

白ポスト

白ポスト設置場所

【市内13ヶ所】

・バラ公園バス停・荒牧バス停

・西蔵津バス停・山田バス停

・JR北伊丹駅・JR伊丹駅

・阪急伊丹駅・車塚公園

・長町駅前・中野西公園

・北センター前・南センター前

・聖いたみホール前

青少年問題・相談
ビデオテープ等は
ポストに入れて下さい

ひょうご防犯ネット情報 (9/1～9/30 掲載分)

日	時刻	場所(事案)	概要	一行為者確保・警告等があったものには☆印
9/5	16:15	尼崎市西昆陽1-伊丹市・西宮市・宝塚市との境界付近	刃物のようなものを持った不審者一男がカッターナイフのようなものを持って歩いていたとの目撃情報があった。	
9/15	16:05	☆船原1(不審者)	徒歩で通行中の女子小学生に対して、女が大声を出しながら携帯電話を向けて撮影する素振りをした後、立ち去った。 その後の捜査により、伊丹警察署員が行為者の女を特定し、警告をした。	
9/25	17:10	緑ヶ丘1(不審者)	徒歩で通行中の女子小学生に対して、自転車に乗った男がすれ違いざまに頭をなでて、そのまま西方向に立ち去った。	

<10月の主な行事>

6(金) 伊丹市少年補導委員連合会

役員会・定例理事会

10(火) 広報啓発活動・一斉補導

13(金) 伊丹市少年育成協会 常任理事会

23(月) 有害図書回収

27(金) 第56回 兵庫県青少年補導委員大会・研修会

*「センター通信」へのご意見ご感想は伊丹市立少年愛護センター(Tel 072-780-3540)までお寄せください。



(9月～11月中)

第2回 愛護補導連絡会

(各小学校区)

第2回 学校補導連絡会

(各中学校区)

(随時)

街頭補導活動

(各小学校区)

中学校区内補導活動

(各中学校区)

電話・来所・メール相談

(愛護センター)